

Weekly M&A Review

2009/10/30 #29

株式会社ESリサーチ
(エスネットワークス グループ)



目次

M&Aに関する最新情報をお送りします。

今週のディールレビュー

- 日本エスコンの事業再生ADRが成立 3
- バンクテック・ジャパンのMBO(マネジメント・バイアウト) 4
- ロジコムのエクイティファイナンス(第三者割当増資) 5
- ディスクレイマー 6

日本エスコンの事業再生ADRが成立

マンション分譲の日本エスコン(8892 JQ)は、事業再生ADR手続にともなう事業再生計画案が成立したと発表した(10月29日)。

債権弁済方針(概要)

1. 残高維持

一時停止時における債権の元本は、約3年間弁済猶予(残高維持)、

2. 担保物件の売却および有担保債権弁済

担保物件は、担保権者への弁済が極大化するよう、適時に売却。

担保物件の売却代金から運転資金を除いた余剰資金は、有担保債権の繰上弁済に充当。

(運転資金のために弁済留保された有担保債権については、3(1)で弁済)

3. キャッシュスイープによる債権弁済

(1)約3年後以降の6カ月毎に、余剰資金(預金残高から運転資金を控除した額)を、キャッシュスイープとして有担保債権の弁済に充当(2.で留保された残高に応じた優先弁済)。

(2)有担保債権の弁済が完了した後、無担保債権額の残高に応じた弁済を実施(無担保プロラタ)。

4. 金利

残高維持期間における金利は、一定の短期変動金利。

5. 社債の取扱い

約3年半後まで弁済期間を延長、その後分割弁済を実施。

(ただし社債権者から額面未済での売却申出があった場合には、買入れ実施)

出所:10月29日付 日本エスコン「事業再生ADR手続における事業再生計画案の成立に関するお知らせ」

ショート・コメント

✓不動産関連上場企業では、コスモスイニシア(8844 JQ)に次ぐ事業再生ADRの成立。

✓債権者責任については、上記の弁済猶予等の措置。一方で経営者責任としては、役員報酬減額(代表取締役は6割減俸など)。株主責任としては、10月末日払込みの第三者割当増資による希薄化(約52%)となっている。

✓日本エスコンの株価は、10月30日終値で8,140円(発表前日比▲40円)。

バンクテック・ジャパンのMBO(マネジメント・バイアウト)

文書・画像処理システムの開発・販売のバンクテック・ジャパン(3818 JQ)は、MBOを発表(10月30日)。

✦ MBO概要(TOB)

公開買付者	BTホールディングス株式会社(非上場) ※バンクテック・ジャパンの代表取締役三井所清宏氏の100%出資会社である、「(株)BTインベストメンツ」の100%子会社
対象	バンクテック・ジャパン株式会社 普通株式および新株予約権
期間	11月4日～12月16日(30営業日)
価格およびプレミアム	普通株式:84,500円/株 ・発表前日終値比: +76.04% ・直近1ヵ月単純平均比: +78.62% ・直近3ヵ月単純平均比: +78.54% ・直近6ヵ月単純平均比: +74.71% 新株予約権:1円/個
数量	上限:— 下限:83,829株(発行済株式総数および潜在株式数の70%) ※買付数量に限度を定めておらず、下限以上の応募があった場合には、応募株券等の全部の買付を行う。

出所:10月30日付 バンクテック・ジャパン「当社株式等に対するマネジメント・バイアウト(MBO)の手法による公開買付けの実施及び公開買付けの応募の推奨に関するお知らせ」

ショート・コメント

✓今回のMBOの背景には、筆頭株主であるジャフコ(約43%保有。今回のMBOに際し応募契約締結済)の株式売却意向や、上場維持(JSOX、四半期決算開示など)のためのコストがある模様。

✓MBOに際しては、中央三井キャピタルの運営するファンドからエクイティおよびメザニンファイナンス(普通株式355百万円、優先株式20億円、劣後ローン35億円)、三井住友銀行および住友信託銀行からシニアローン52億円を調達する予定。

✓バンクテック・ジャパンの株価は、10月30日終値で48,800円(発表前日比+800円)。

ロジコムのエクイティファイナンス(第三者割当増資)

不動産賃貸関連事業のロジコム(8938 大ヘラ)は、第三者割当増資による資金調達を発表(10月30日)。

第三者割当増資概要

割当先および株数	株式会社ARICA(2,900株) Prospect Japan Fund Limited(2,000株) フィンテック グローバル投資事業有限責任組合第12号(900株) 日本千博株式会社(800株) 計6,600株
発行日	2009年11月24日
発行価格	1株あたり58,474円 ※発表前日(10月29日)終値64,900円にディスカウント率9.9%を加味した価格
調達総額	385,928千円
資金使途	サブリース事業のための新規賃貸借契約取得または賃貸物件の取得費用

出所:2009年10月30日付 ロジコム「第三者割当による新株式発行並びに主要株主の異動について」

ショート・コメント

✓今回の第三者割当増資による希薄化率は42.17%。

なお、本ファイナンスについては、ロジコム社の監査役3名全員が同意、及び弁護士から相当性があるとの意見を入手しているとのこと。

✓ロジコムの株価は、10月30日終値で65,000円(発表前日比+100円)。

ディスクレイマーおよびお問い合わせ先

- このレポートは主として情報提供を目的としたものであり、特定の会計・税務処理を勧奨するものではありません。
- 会計上及び税務上の判断については、事前に公認会計士及び税理士、弁護士等の専門家と十分ご相談ください。
- 本レポートの利用すること、またはその情報に依存する上で、直接、間接、状況による場合、特殊または結果的に発生する損失、ダメージ、コスト、クレーム、要請などに対し、株式会社ESリサーチは一切の責任を負いません。
- 当レポート上で紹介されている第三者のウェブサイトに関しては、株式会社ESリサーチはその情報の内容についてコントロールする立場にありません。また、一切の責任を負いません。第三者のウェブサイトの利用を推奨するものではありません。
- 記載された意見や予測等は作成時点のものであり、株式会社ESリサーチはその正確性及び完全性を一切保証いたしません。
- 本レポート記載の事項は今後予告なく変更されることがあります。
- 当該レポートの内容に関する一切の権利は株式会社ESリサーチに帰属し、事前の了承の無い複製又は転送は禁じられております。

【本レポートに関するお問い合わせ先】

株式会社ESリサーチ 公認会計士 高桑 昌也
Tel:03-6826-6222 / m-takakuwa@esnet.co.jp
<http://www.esnet.co.jp/es/>